

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月04日

計画の名称	草津市地域住宅整備計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	草津市												
計画の目標	『草津市住宅マスタープランに基づき、市民の安全・安心な暮らし、多様なニーズに対応した良質な住環境の整備を実現する。』												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	156	A	154	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.28	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初		R2末
1	草津市市営住宅長寿命化計画に基づく市営住宅の個別改善(長寿命化型)等を実施する。 市営住宅の個別改善(長寿命化型)率 (長寿命化計画に基づき実施した市営住宅の長寿命化型改善事業費)/(長寿命化計画により計画している市営住宅の長寿命化型改善事業予定費)	15%	%	100%
2	市営住宅の補完的な役割として、住宅セーフティネットとしての民間住宅の空き家活用を推進する。 住宅の空き家率 (草津市内の空き家総戸数)/(草津市内の住宅総戸数)	9%	%	9%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
指標1における現況値の詳細:H28当初)14.7% 指標2における現況値・目標値の詳細:H28当初)9.2% R2末)9.2%												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	草津市	直接	草津市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公的賃貸住宅家賃低廉化事業)	陽ノ丘、橋岡、芦浦、笠縫団地	草津市						111		-	
	A15-002	住宅	一般	草津市	直接	草津市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(空き家再生等推進事業)	空き家実態調査	草津市							8		-
	A15-003	住宅	一般	草津市	直接	草津市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(住宅地区改良事業)	改良住宅(西一・新田地区)の現況調査	草津市							1		-
	A15-004	住宅	一般	草津市	直接	草津市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等ストック総合改善事業)	長寿命化計画の見直し、市営住宅個別改善工事	草津市							26		策定済
	A15-005	住宅	一般	草津市	直接	草津市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等整備事業)	公営住宅建替基本方針の策定	草津市							8		策定済
												小計						154		





事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 草津市建設部住宅課	事後評価の実施時期 令和4年3月
	公表の方法 草津市のホームページに掲載する
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化型個別改善等を実施したことにより、市営住宅における住環境が向上した。</li> <li>・空き家実態調査を実施したことにより空き家の分布状況、危険度に問題のない空き家の数と分布状況が確認できた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的賃貸住宅家賃低廉化事業により、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することができた。</li> <li>・老朽化の激しい住宅において、現状の市有地や地域コミュニティ等を考慮した建替え方針、建替え手法、事業手法等をまとめることができた。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家は「草津市空き家等対策計画」に基づき、住宅困窮者用の住宅として利活用するなど促進を図る。</li> <li>・市営住宅は「草津市市営住宅長寿命化計画」等に基づき、住宅の安定的な確保を行いながら、住宅セーフティネットの形成に向け、民間事業者との役割分担を行い適切な管理を実施する。</li> <li>・公的賃貸住宅家賃低廉化事業を継続し、住宅に困窮する低所得者に対する居住支援を行う。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	93%
2	最終目標値	9%
	最終実績値	10%

・本計画で予定していた個別改善は予定通り完了した。・本指標は事業費ベースの改善率であり、予定事業費と実績事業費との間に差額が生じたことが要因。

・平成27年4月に立命館大学のキャンパス再編に伴い経営学部が県外に移転し、市内居住の学生約1,000人～1,500人が減少した。・これに伴いワンルームアパートやマンションに空き家が発生したことが要因。